

## 霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方気象台

霧島山（新燃岳）では、一昨日（22日）16時34分頃噴火が発生し、新燃岳の北東約10kmの小林市や高原町では、降灰を確認しました。

本日（24日）、九州地方整備局及び宮崎県防災救急航空隊の協力を得て行った上空からの観測では、新燃岳火口の外（西側の斜面）と火口内南側で噴煙が上がっているのを確認しました。

新燃岳では、火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続中です。

引き続き、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があります。火口から1km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

### ○ 活動概況

#### ・ 噴煙など表面現象（図3、図4）

新燃岳では、一昨日（22日）16時34分の噴火以降は噴火の発生はありません。本日（24日）の遠望カメラによる観測では、少量の白色噴煙が火口縁上700mまで上がりました。

#### ・ 地震や微動の発生状況（図4）

今月19日から火山性地震が増加し、19日は81回、20日は167回、21日は183回、22日は312回、23日は99回でした。23日02時以降少ない状態が続いており、本日（24日）は19時まで33回発生しています。火山性微動は23日の01時37分に1回観測しましたが、その後は発生していません。

#### ・ 新燃岳火口及び火口周辺の状況（図1～3）

本日（24日）、九州地方整備局及び宮崎県防災救急航空隊の協力を得て行った上空からの観測では、新燃岳火口の外（西側の斜面）と火口内南側で、複数の新しい火孔から噴煙が上がっているのを確認しました。

新燃岳の西側火口縁の外側に、22日の噴火に伴って噴出した弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口縁から200～300m付近まで確認されました。

---

※ 資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』、『25000分の1地図画像』を使用しています（承認番号：平17総使、第503号）。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)で閲覧することができます。

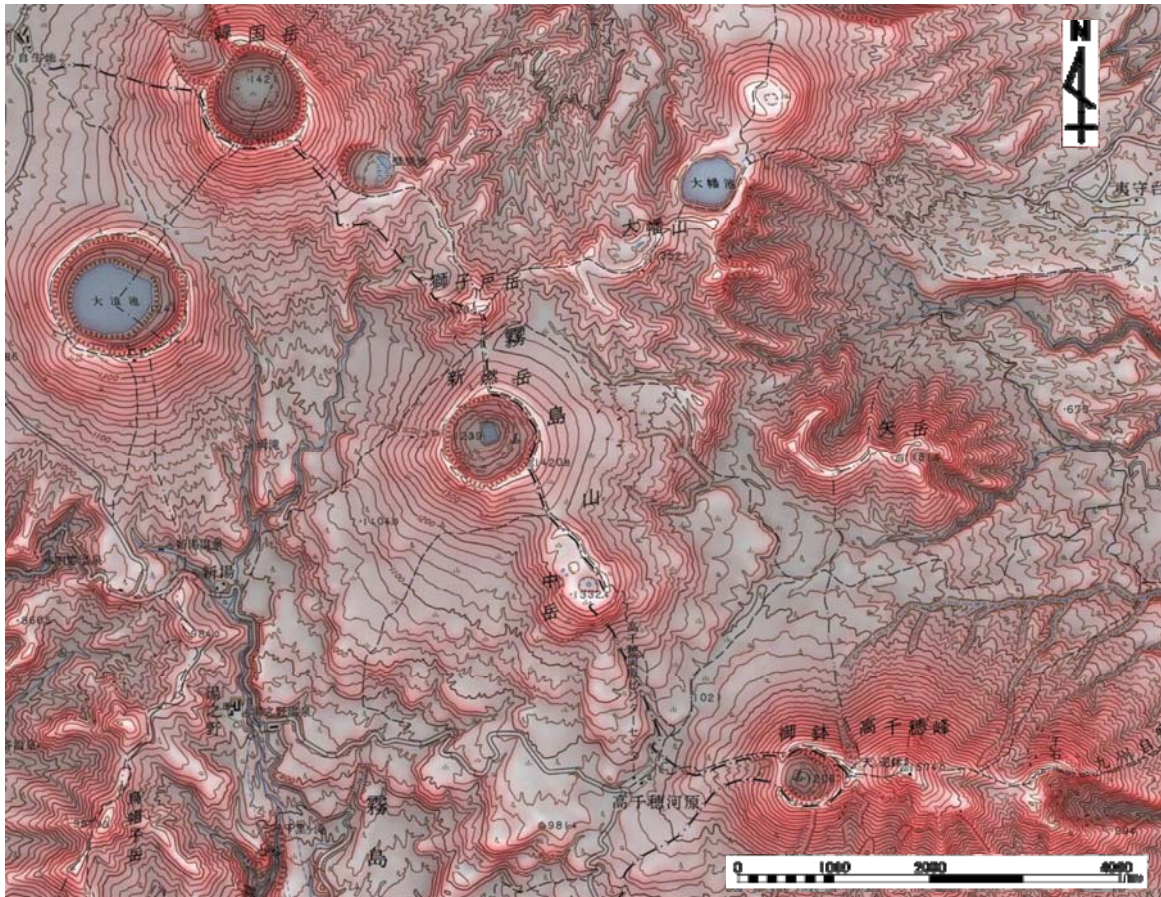


図 1 霧島山 新燃岳周辺の地形図

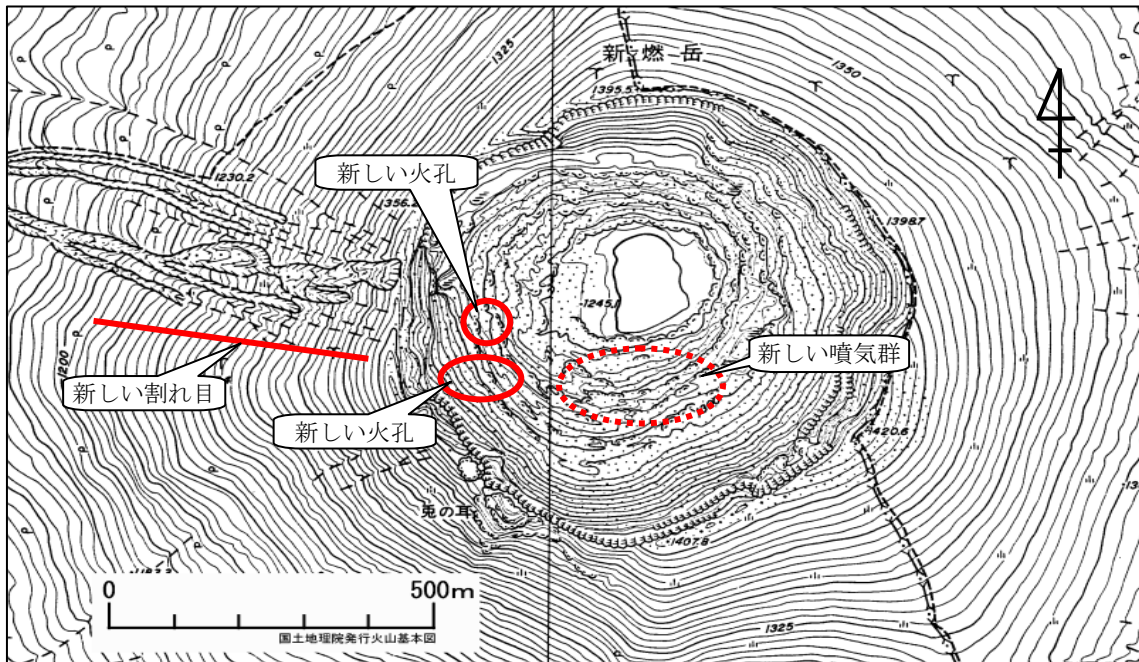
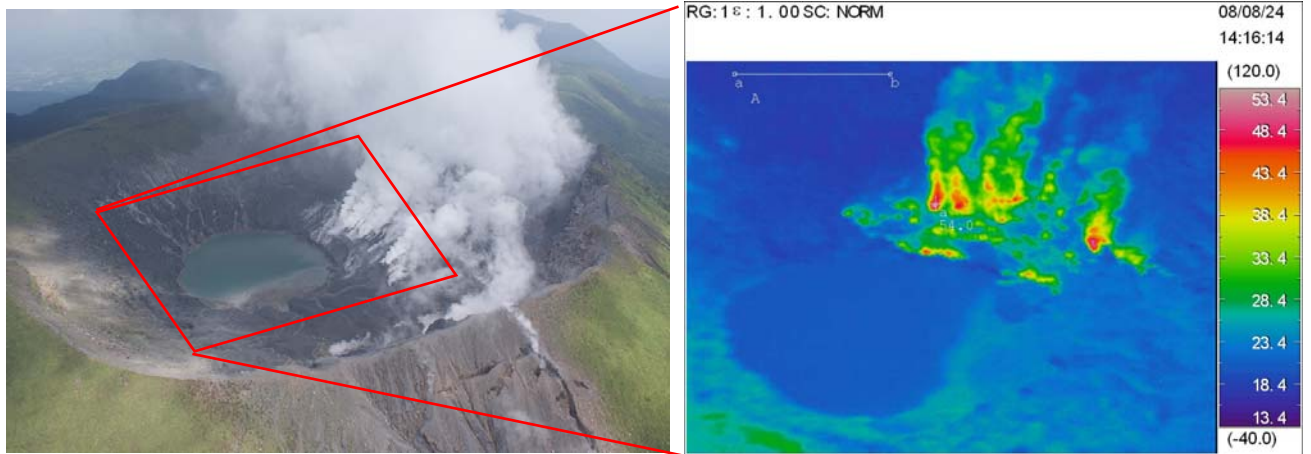
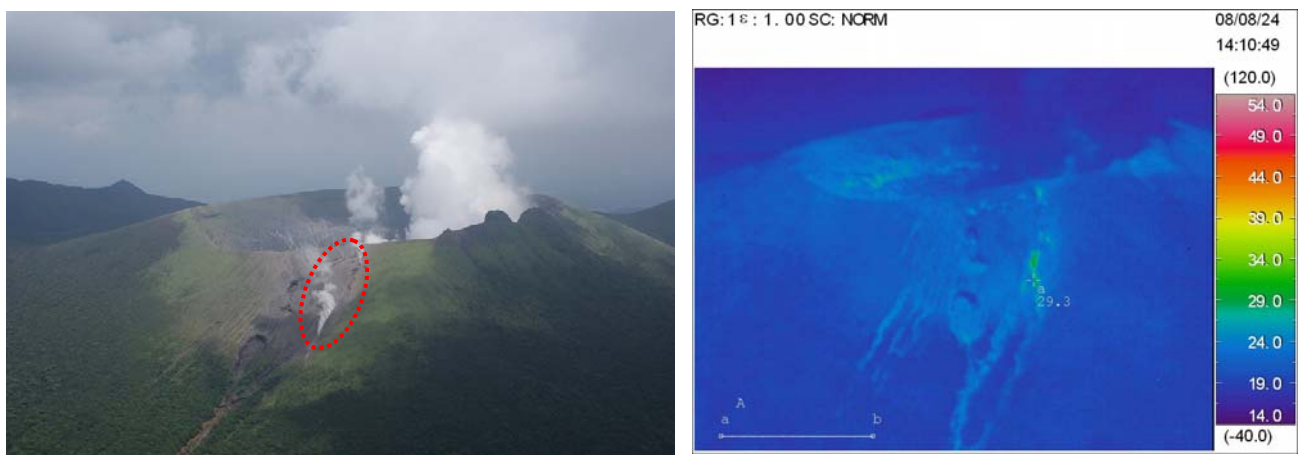


図 2 霧島山 新燃岳火口の状況

24 日の現地調査によって確認された新しい火孔、噴気群及び割れ目



新燃岳（西北西側からの可視画像と熱画像）2008 年 8 月 24 日



新燃岳（西南西側からの可視画像と熱画像）2008 年 8 月 24 日

・噴気孔(新しくできた割れ目)から白色の噴煙を上げている。



赤丸内は新しくできた火孔

図 3 霧島山 九州地方整備局の協力を得て行った上空からの撮影

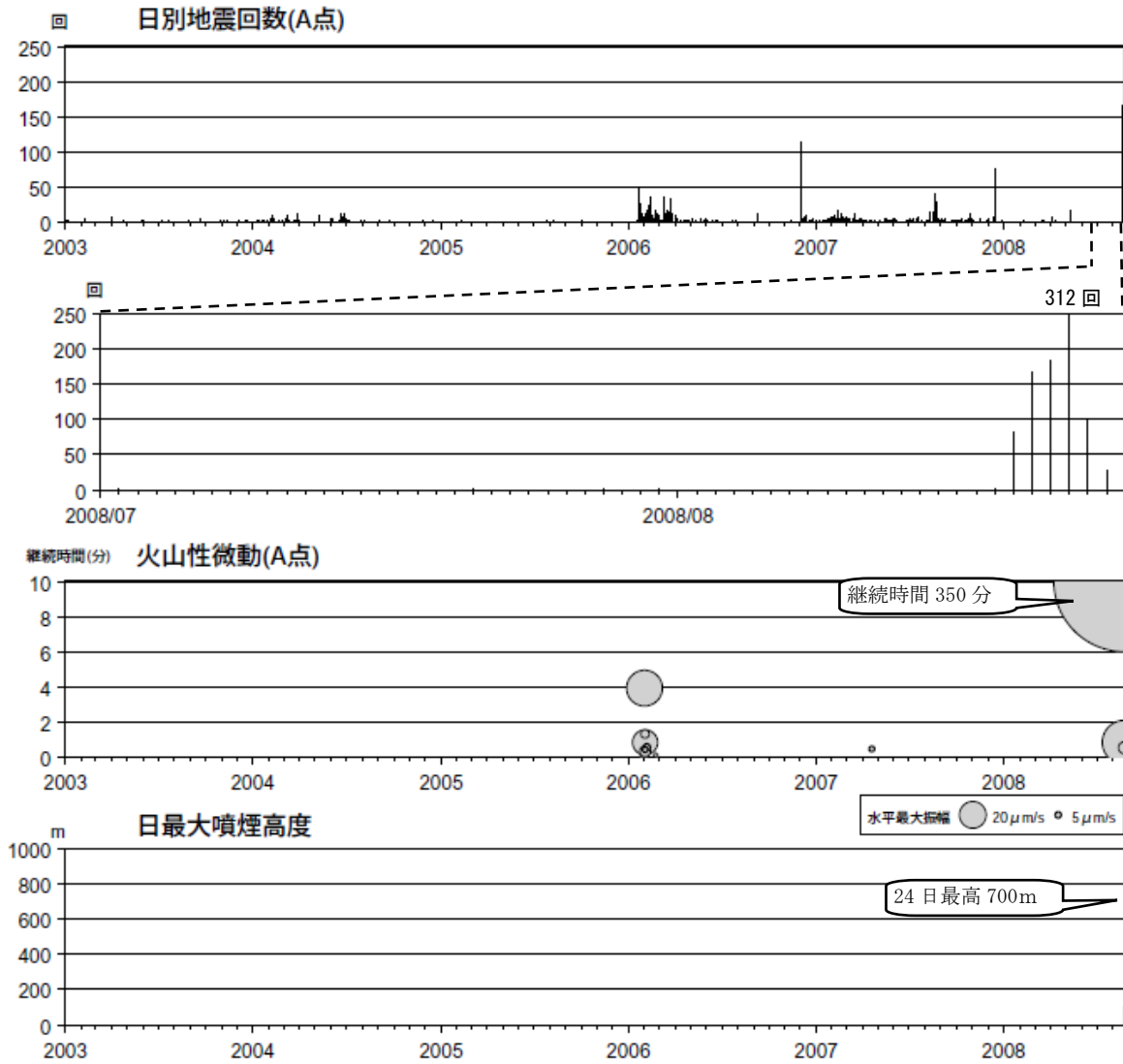


図 4 霧島山 新燃岳の地震・微動・噴煙の状況



図 5 霧島山 観測点配置図